環境緑化新聞

「トトロの森」保全へ

東村山市が補正予算7300万円を計上

東京都東村山市は、「トトロの森」を取得するため、平成19年度補正予算に購入費7300万円を計上、市議会に提出した。

購入予定地は、同市北部の映画「となりのトトロ」などで知られる映画監督の宮崎駿氏が、同映画の構想を練ったという「淵の森」と川を挟む隣接地の雑木林で、宅地化計画が持ち上がっていることから、緑で覆われた両岸の景観が壊される」と宮崎監督が会長となっている淵の森保全連絡協議会が市に取得を要請していたもの。

購入費のうち、250万円は、宮崎監督が全国から集めた募金で賄う予定で、議案が可決すれば、今月中にも公有地化が実現する。

仮想世界にも「トトロの森」

インターリンクが自然保護支援

トトロのふるさとの自然保護を支援する「淵の森保全連絡協議会」などを支援してきたブロードバンド接続サービス事業などを手掛ける㈱インターリンク（本社・東京都豊島区、横山正社長）は、仮想世界サービス「セカンドライフ」内に、バーチャル・ユニセフハウスを構築する。

ハウスは、東京・港区の日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」をモデルに3D化。ハウス内で、オリジナルグッズの販売や、緊急災害用の募金活動を行い、全額を日本ユニセフに寄付する。

また、ハウスは、インターリンクが今年6月から環境保護や人道支援を行うさまざまな団体を支援するために設けた「八国山アイランド」に設置。

現実の「八国山」は、狭山丘陵の東端に位置する東村山市多摩湖町の都立公園・八国山緑地一帯で、映画「となりのトトロ」では、主人公の姉妹・サツキとメイの母親が入院する病院「七国山」のモデルとなった場所。

インターリンクでは、仮想世界の「八国山アイランド」の認知を高め、より多くの環境保護団体等への支援を積極的行っていく方針だ。

「八国山アイランド」の公式ウェブサイト